



第76回

地域の誇り「沼津方式」 ～ごみの分別収集～

住宅街を横切る蛇松緑道の通り沿いに、白銀町に住む皆さんが利用する資源ごみの集積所があります。ここでは、収集日の朝になると地域の皆さんが挨拶を交わし、分別されたごみを決められたところに置いていく自然な様子が伺えます。市内各地域で、当たり前のように見受けられるこの仕組みが、全国に広がったごみの分別収集「沼津方式」です。

市では、昭和50年に全国に先駆けてごみを「燃やすごみ」「資源ごみ」「埋め立てごみ」の3種類に分別する収集方法を開始しました。これは沼津方式と呼ばれ、ごみの減量や資源化に繋がったという利点だけではなく、市民や自治会がごみの分別に理解を示し、市民協働という形で実践することができたことから、多くの自治体が参考としています。

40年が経ち、分別品目が増えた今でも、市民の皆さんが家庭はもちろん、学校や職場でもごみを分別することが、生活の一部として根付いています。

全国に先駆けて始められたごみの分別収集「沼津方式」。分別することが当たり前という意識が皆さんの中に浸透していることが沼津の誇りと言えるのではないのでしょうか。

㊤クリーンセンター管理課

☎055・933・0711